

世界の都市めぐり

スリランカ



↑ダンブッラの石窟寺院。壁と天井のすべてが壁画で埋め尽くされた内部に仏像が並ぶ

インド亜大陸の南東に位置する島国スリランカ。スリランカとは「光り輝く島」という意味である。

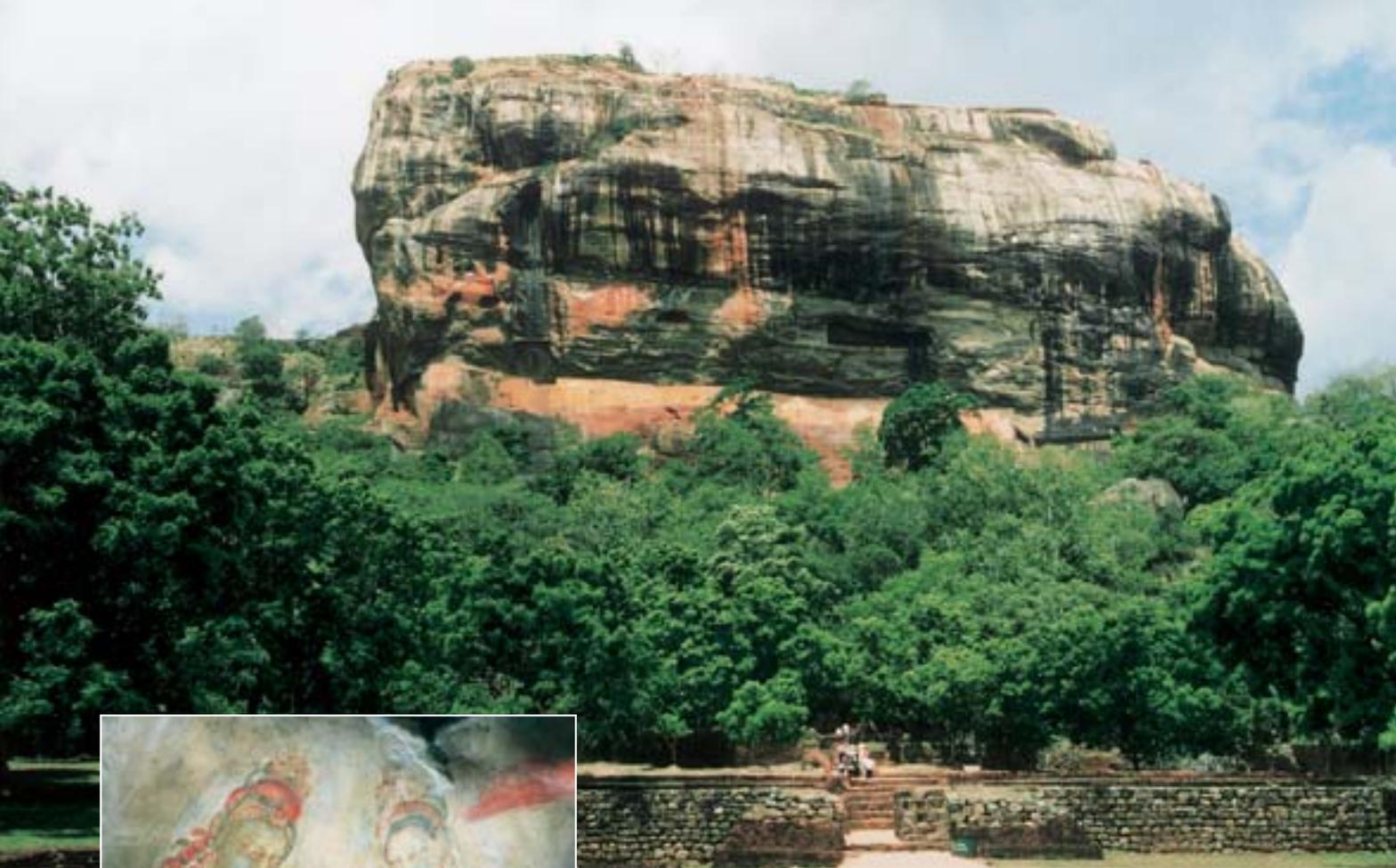
古代から仏教王国として繁栄し、大規模な仏教遺跡が各地に造られてきた。これらの遺跡は、現在もユネスコの協力により修復が続けられている。

また、熱帯地方に位置するこの島国は、海岸から山岳地帯まで変化に富んだ地形をしており、その中に多くの野生動物が棲息する自然の王国でもある。

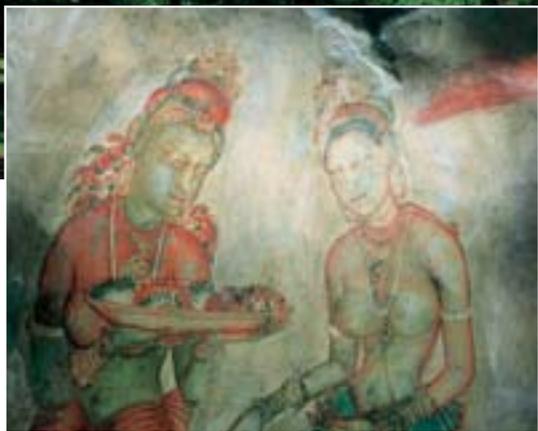
約20年にわたって内戦が続き、特に北東部の荒廃は著しかったが、2002年2月に無期限停戦が成立して以来、復興への道のりを歩き始めている。

Sri Lanka





↑シーギリヤ・ロック。かつてこの岩山の頂上に華麗な王宮が築かれた



↑シーギリヤの美女。約1500年前の美しさをそのまま保っている



↑仏像に花を捧げて祈る。スリランカの宗教別人口比は仏教徒69%、ヒンドゥー教徒15%、さらにイスラム教徒とキリスト教徒がそれぞれ8%ずつである



↑ミヒンタレーにあるカンタカ・チェティヤ仏塔。数々の彫刻で飾りつけられている



↑現代スリランカを象徴する新しい国会議事堂。新首都コ
ーッテに1984年に建設された



↑アヌラーダブラのジェータワナ・ラーマヤ大塔。現在、ユネスコの支援を受けて修復中
である



↑アヌラーダブラのルワンウェリ・サーヤ大塔。白く輝くこの大塔は高さ55m。
完成当初は110mもあったという



↑来訪者を迎えるガードストーン。約2400年前から仏塔を護り続けて
いる（アヌラーダブラ）



↑屈託のない笑顔の子どもたち。スリランカで盛んな日曜学校での一コマ



↑街の果物屋さん。色とりどりの果物が軒を飾る



↑山肌一面に広がる紅茶畑(ヌワラエリヤ)。スリランカの紅茶生産量は世界第2位、輸出量は世界第1位だ